令和５年度

「運営に関する計画」

大阪市立東中川学校

令和５年４月

（様式１）

大阪市立東中川小学校　令和５年度　運営に関する計画・自己評価（総括シート）

１　学校運営の中期目標

現状と課題

継続的な教育活動として「安心して成長できる安全な場所づくり」そして「力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」に取り組み一定の成果をあげてきた一方で、課題も出てきており、継続的な取組が必要である。

しかし、長引く新型コロナウィルス感染拡大防止により教育活動に影響を及ぼし、児童・保護者アンケートの結果によると「学校生活に満足しているか」「校内のルールは守れているか」「家で勉強するか」「外で遊ぶのは好きか」は学年によりばらつきがあり、高学年になるほど消極的な結果もみられる。

このような実態も踏まえ、改定された大阪市教育振興基本計画の最重要目標の 3 本柱を軸とし、地域の特色を考慮した多文化共生教育や一部児童の問題行動への対応、特別支援教育の充実、主体的・対話的で深い学びによる未来を切り開く学力の向上に向けた取り組みを掲げ、シンプルで子どもたちの心に響く教育活動の推進に努めたいと考えている。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和７年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について肯定的な回答をする児童の割合を令和３年度より５％増加させる。

○令和７年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、８５％以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和７年度の全国学力・学習状況調査の思考・判断・表現（言語についての知識・理解・技能）に関する項目の平均正答率を、令和３年度より２ポイント増加させる。

○令和７年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を４０％以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和７年度全国学力・学習状況調査の「５年生までに受けた授業で，コンピュータなどのＩＣＴ機器をどの程度使用しましたか」の項目で「ほぼ毎日」「週に１回以上」と答える児童の割合を５０％以上にする。

○令和７年度において「学校園における働き方改革に関する働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準２を満たす教員を７０％以上にする。

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。

・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。R4　6名
・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

・児童アンケート「学校は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を８０％以上にする。
・児童アンケート「学校のルールは守れていますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を８０％以上にする。
・児童アンケート「場に応じたあいさつができていますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を８５％以上にする。　R4　未
・多文化共生教育に関わる学習プログラムを各学年において年間１単元作成し実践し、児童アンケート「外国の文化について興味をもちましたか」の項目について肯定的な回答をする児童を７５％以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を３６％以上にする。
・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント向上させる。
・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を７５％以上にする。
・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を７０％以上にする。
・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を昨年度（７１％）以上にする。

学校園の年度目標

・小学校学力経年調査における「家やいきいき活動、放課後学習などで、学校の宿題をしていますか」項目で肯定的な回答をする児童の割合を８０％以上にする。
・小学校学力経年調査における「授業の内容はよく分かりますか」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を国語・算数ともに７５％以上にする。
・小学校学力経年調査における「理科の学習は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を７０％以上にする。
・児童アンケート「外国語（英語）の学習は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を８０％以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

・授業において学習者用端末を週１回以上使用し、児童アンケート「タブレット端末を使ってすすんで学習していますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を７０％以上にする。

・児童アンケート「本を読むことは好きですか」の項目で肯定的に答える児童の割合を７０％以上にする。

・「学校園における働き方改革に関する働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準２を満たす教員を６０％以上にする。

学校園の年度目標

・授業において学習者用端末を週１回以上使用し、児童アンケート「タブレット端末を使ってすすんで学習していますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を７０％以上にする。

・児童アンケート「本を読むことは好きですか」の項目で肯定的に答える児童の割合を７０％以上にする。

・教員の月平均時間外勤務時間を４０時間以下にする。

３　本年度の自己評価結果の総括

（様式２）

大阪市立東中川小学校　令和　５年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した　　B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった　D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標１　安全・安心な教育の推進】 ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 70%以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 学校園の年度目標 ・児童アンケート「学校は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を８０％以上にする。 ・児童アンケート「学校のルールは守れていますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を８０％以上にする。 ・児童アンケート「場に応じたあいさつができていますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を８５％以上にする。 ・多文化共生教育に関わる学習プログラムを各学年において年間１単元作成し実践し、児童アンケート「外国の文化について興味をもちましたか」の項目について肯定的な回答をする児童を７５％以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向１　安全・安心な教育環境の実現　】 基本的な生活習慣を身につけ、「学校安心ルール」を徹底し、学校で決められたルールを守り、なかよく安心して過ごすことができるようにする。また、スマートスクールの機能を用い、いじめや問題行動の未然防止を図り解決する。 （ 問題行動への対応 ）	
指標 ・児童アンケート「学校のルールは守れていますか」の項目において、肯定的回答を８０％以上にする。 ・スマートスクールの機能を用いて、児童の実態を把握し、いじめや問題行動を９０％解決する。	
取組内容②【基本的な方向１　安全・安心な教育環境の実現　】	

家庭や区役所、関係諸機関と連携し、不登校傾向の児童の登校支援をすすめたり、スクリーニング会議で児童についての情報を共有したりし、不登校児童の対応にあたる。 （ 不登校への対応 ）	
指標 ・週１回、児童の状況把握のために家庭に連絡し、月１回の生活指導部会で児童や家庭環境の様子を共有し、不登校児童の対応に当たるようにする。 ・児童アンケート「学校は楽しいですか」の項目において、肯定的回答を８０％以上にする。	
取組内容③【基本的な方向２　豊かな心の育成】 障がい、福祉についての理解を深める取り組みをすすめる。 （　インクルーシブ教育の推進 ）	
指標 ・障がい、福祉についての学習年間計画を作成する。 ・年間計画をもとに、障がい、福祉について理解を深める学習プログラムを年間１単元以上実践する。 ・愛着障害にをテーマとした研修会を年間１回以上実践する。	
取組内容④　【基本的な方向２　豊かな心の育成】 ・国際クラブ４チームの活動内容を工夫し、参加者を通して共生社会をめざす資質や能力を持った子どもを育み、英語や多文化への関心、関わりを持つことができるようにする。 ・多文化共生教育に関わる学習プログラムの充実を図る。 （ 多文化共生教育の推進)	
指標 ・国際クラブの内容の充実を図るため、教材教具をそろえたり、ゲストティーチャーを招いて活動をしたりする。 ・生活や総合的な学習の時間で、多文化共生に関わる学習プログラムを年間１単元以上実践する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

（様式２）

大阪市立東中川小学校　令和　５年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標２　未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を３６％以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より１ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を７５％以上にする。 ・小学校学力経年調査における「理科の学習は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を７０％以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を昨年度（７１％以上）にする 学校園の年度目標 ・小学校学力経年調査における「家やいきいき活動、放課後学習などで、学校の宿題をしていますか」項目で肯定的な回答をする児童の割合を８０％以上にする。 ・小学校学力経年調査における「授業の内容はよく分かりますか」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を国語・算数ともに７５％以上にする。 ・小学校学力経年調査「理科の学習は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を７０％以上にする。 ・児童アンケート「外国語（英語）の学習は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を８０％以上にする。 ・児童アンケート「外で遊ぶことは好きですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を８０％以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向４　誰一人取り残さない学力の向上】 　研究教科である算数を中心に、思考力・判断力・表現力等の育成に取り組む。 （ 言語活動･理数教育の充実 ）	
指標 ・思考力、判断力、表現力等を育成するために、年間３回の算数科の授業研究を実施し、指導法を構築する。 ・全学年、算数科の単元テストの学級の平均点を７０点以上にする。	
取組内容②【基本的な方向４　誰一人取り残さない学力の向上】 　学習したことの定着を図り、学習やテストに意欲的に取り組むことができるようにする。また、一人一人の状況を把握し、個に応じた指導をすすめる。 （　全市共通テスト等の実施と分析 ）	
指標 ・単元ごとのカラーテスト（1.2年算数：国語、３～６年社会：理科）は分析ロムにより観点別評価の推移を指導に活かすためデータ作成をして保護者へ説明する。 ・２教科（国語・算数）の「経年調査」（2年は標準調査）は、昨年度の同じ母集団の結果より標準化得点を１ポイント以上の向上をめざす。 ・２教科（国語・算数）の単元別テストの平均を７５点以上のクラスを７０パーセント以上にする。 ・個に応じた指導を進める研修会を行う。	
取組内容③【基本的な方向４　誰一人取り残さない学力の向上】 　「小学校低学年からの英語教育」を実施し、語学力・コミュニケーション能力を育成する。また、教員の英語に関する指導力の向上を図る。 （ 英語教育の強化)	
指標 ・英語短時間学習（昼学習１０分×２回）を実施し、実施状況を確認表に記入する。各クラスで９０％以上実施する。 ・児童アンケートの「英語の学習は楽しいですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を８０％以上にする。 ・外国語・外国語活動についての研修を年間２回実施し、教員の指導力向上を図る。	
取組内容④【基本的な方向５　健やかな体の育成】 　運動場での外遊びや、体育館の有効活用、朝（始業前）や放課後の遊びやスポーツの取り組みを通して、自分の健康に関心を持ち、進んで体力づくりに励む子どもを育てる。 （ 体力･運動能力推進のための取組の推進 ）	
指標 ・健康について意識を高めることができるように、健康委員会が月に１回、朝学時に「保	

健調べ」実施する。 ・児童が健全な生活習慣を身に着けられることを目指し、「元気もりもり週間」を年に3回実施する。振り返りシートにおいてできたと答える児童の割合が80%以上を目指す。 ・児童の体力向上を目指し、実践交流や実技指導などの校内研修を年２～3回以上実施する。 ・休み時間の外遊びを推進するため、運動委員会の児童が低学年児童に実技を教える活動を、年２～３回実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

（様式２）

大阪市立　（学校園名）　令和　５年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標３　学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(小学校) ・授業において学習者用端末を週１回以上使用し、児童アンケート「タブレット端末を使ってすすんで学習していますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を７０％以上にする。 ・児童アンケート「本を読むことは好きですか」の項目で肯定的に答える児童の割合を７０％以上にする。 ・「学校園における働き方改革に関する働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準２を満たす教員を６０％以上にする。 学校園の年度目標 ・授業において学習者用端末を週１回以上使用し、児童アンケート「タブレット端末を使ってすすんで学習していますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を７０％以上にする。 ・児童アンケート「本を読むことは好きですか」の項目で肯定的に答える児童の割合を７０％以上にする。 ・教員の月平均時間外勤務時間を４０時間以下にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向６　教育 DX の推進】 一人一台端末を主体に活用し、個別の学びを進めるとともに、情報活用能力を高められるようにする。 （ ICT を活用した教育の推進 ）	
指標 ・ICT にかかわる教員研修会を年間３回行う。 ・授業において学習者用端末を週に１回以上使用する。	
取組内容②【基本的な方向７　人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教員の長時間勤務の解消を通じ、児童一人一人に向き合う時間を確保できるようにする。 （ 働き方改革の推進 ）	
指標 ・毎月 2 回「ゆとりの日」を設定する月を年間 6 回予定し、定時の 30 分後までには退勤できるように意識づけする。	

・年休を１０日以上取得した教職員を８０％以上にする。	
取組内容③【基本的な方向８　生涯学習の支援】 　学校図書館を積極的に活用し、読書活動を通じて児童の言語能力・情報活用能力の向上を図る。　（ 学校図書館の活性化）	
指標 ・児童の読書活動を支援し、低学年は 50 冊以上、高学年は 25 冊以上、3000 ページ以上の読書量達成率を全体の 50%以上にできることを目指す。 ・朝の読書タイム、家庭学習などで読書したことを読書ノートに記録して読書習慣が身につけられるようにし、児童アンケートの結果で肯定的な意見が 75%以上になることを目指す。 ・おはなし会や読書週間などに読書に親しむ活動を行ったり、図書を使った調べ学習を行いやすい環境を整えたりする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	